

教科	工業	科目名	課題研究	単位数	3
学科	建築	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	なし				
副教材など	なし				

1. 科目の目的

- ① 建築に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ることを目指す。
- ② 問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を身に付けることを目指す。

2. 授業の内容と進め方

それぞれ各班に分かれて課題を設定し、その課題目標達成のため、自から課題を定義し自発的、創造的に問題を解決していける様指導し、生徒自身に取り組みさせます。

3. 学習する上での留意点

安全な作業を行うために、工具・機械の正しい使用方法の知識を理解し実行することが大事ある。又、整理・整頓等の環境整備等の指導も行う。課題の解決に向けて、夏期休暇も利用して取り組みます。

4. 課題等について

各班ごとに、学習目標を達成できない生徒は放課後等を利用して取り組みさせます。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技術	各研究課題について、基礎知識や関連知識を理解しており、使用目的に応じた材料の選択・設計ができ、工具・機械の使用方法を身につけている。
思考・判断・表現	各研究課題において、専門的な知識や技術を駆使して分析し、合理的に判断・表現ができる。
主体的に学習に取り組む態度	自らが設定した課題に対してに関心を持ち、それを成し遂げるため意欲的に取り組む態度を身につける。

6. 評価の方法

- (1) 出席状況。
- (2) 授業の取り組み状況。
- (3) レポート。
- (4) 課題作品。
- (5) 生徒の自己評価内容等により総合的に判断する。

《指導計画》 科目名 課題研究

3 学年

3 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	6グループによる各グループに分かれての課題研究 1. 班分け (1)ランタン班 (2) 模型製作班 (3) インターハイ案内所製作&ものづくり班	○生徒自らが、工業に関するテーマを設定し、自ら課題を見つけ、計画を立てることができる。 ○課題に応じて、自ら学び自ら考え、主体的に判断し、取り組むことができる。	助言・観察
	5	(4) 設計競技or施工図作成班 (5)ミニ出島の模型製作班	○課題の問題をよりよく解決する資質や能力を身につけることができる。	
	6	2. 内容 (1)ランタン班 長崎ランタンフェスティバルに関する改善点を見つけ出し、建築の技術を使って修正を加えていく。 (2) 模型製作班 住宅模型の制作。戸建住宅を基本として制作し、様々な住宅がどのような形で成り立っているか考える。 (3) インターハイ案内所製作&ものづくり班	○研究の成果を自ら整理し、わかりやすく発表することができる。	
二 学 期	9	R6年度に本県で開催されるインターハイで来県者を案内する案内所を製作する。木材加工をするために道具・機械等の使用方法を習得し、ものづくりを行うと共に、木材の再利用について考える。		助言・観察
	10	(4) 設計競技or施工図作成班 各種の設計競技に参加(応募)する。または、RC造5階建てビルの施工図の作成		
	11	(5)ミニ出島の模型製作班 出島にあるミニ出島の修復を行う		
	12			
三 学 期	1	3. 課題研究発表のまとめ		教師による評価
	2	4. 課題研究発表まとめ 計画, 準備		
	3	5. 課題研究発表(1・2年対象)		